

戦後80年企画 海事博物館企画展

太平洋戦争時の日本商船

～神戸高等商船学校と梅木信子の願い～



▲沈みゆく本船に別れを告げる「関西丸」の乗組員（大久保一郎画、株式会社商船三井所蔵、公益財団法人日本海運船舶員顕彰会提供）

▲戦没した商船群（山田コレクション模型）
背景図：戦没徴用船の分布（円は概略の数量比）

2025年 2026年
7/25(金) 5/22(金)

来館のご案内とアクセス

■開館日：月・水・金の13:30～16:00(祝日を除く)
ただし、8/7(木)～8/29(金)、
12/15(月)～1/16(金)、2/16(月)～3/13(金)、
4/29(水)～5/8(金)は休館

■入館料：無料

見学のお問い合わせ・連絡先

海事博物館 Tel: 078-431-3564
(博物館事務室は上記の開館日と開館時間に同じ)
<http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp>



阪神電車を
利用される場合 深江駅から南西へ徒歩約10分
▲上記地図で参照



神戸大学
海事博物館

海と船の過去、今、夢ある未来が詰まった博物館

■主催：神戸大学海事博物館 ■協力： 一般社団法人 海洋会・一般財団法人 梅木靖之記念財団 ■協賛： 同窓会 海神会



先の太平洋戦争では、太平洋の広大な海域が戦場と化しました。平和な時代においては、交易にともなう人やものの輸送と情報の伝達を一手に担い、世界第3位を誇ったわが国商船隊でしたが、戦時下においては徴用船として幾多の戦場との間で兵士や軍属、民間人、傷病者や捕虜、軍需品や支援物資などを輸送し、さらに本土へは膨大な量の資源を海外から運び込むなど、多岐にわたる任務を果たしていました。しかし、輸送の重要性にもかかわらず戦況の悪化に連れ、手薄な護衛や運任せともいえる運航を強いた軍により、多くの徴用船が潜水艦や航空機の攻撃により海の藻屑と化してしまい、船とともに幾多の尊い人命を失うことになりました。

◀日本郵船の「富士丸」を救助する「鴨緑丸」の乗組員
(大久保一郎画、株式会社商船三井所蔵、公益財団法人日本殉職船員顕彰会提供)

戦後80年企画 海事博物館企画展

太平洋戦争時の日本商船

～神戸高等商船学校と梅木信子の願い～

1 商船の徴用と戦没

太平洋戦争で犠牲になった船員は約6万人で、当時の日本人船員の実に49パーセントが7,200隻余りの船と運命を共にし、ここに日本商船隊は壊滅するに至りました。本展示では、アジア太平洋海域における徴用船の主要な戦没地点を地図にあらし、元民間船の喪失を通じて戦争の悲惨さを海から見つめます。大阪商船株式会社は嘱託画家であった大久保一郎氏に戦没船絵画の作成を依頼し、生き残った船員諸氏の声を基に、沈みゆく自社船の最後の姿を記録に留めました。商船模型と、戦後に発見された絵画の複製とをあわせてご紹介します。



▲阿波丸(模型)

2 戦争と神戸高等商船学校

第一次世界大戦末期の1918(大正7)年創立の私立川崎商船学校は、1920年に官立神戸高等商船学校となり船員教育を本格化させました。当時、国は船舶職員を予備兵力として確保するため海軍予備員令によって海軍予備生徒とし、卒業すると海軍予備少尉・予備機関少尉に任用して召集しました。1945年までに約3,000人の本校生徒が商船士官や軍属、海軍士官として巣立ちましたが、太平洋戦争において約800人の卒業生が戦没しています。



▲神戸高等商船学校の学舎(模型)

3 山田コレクションと戦没船

太平洋戦争において、いわゆる海軍所属艦船以外にも多くの船舶が戦地におもむきました。南方激戦地で沈没していった戦没徴用船の中から、いくつかをご紹介します。

山田早苗氏は幼少期から商船に興味を持ち、自らも目にした数々の商船の動向を克明に調べ上げ、戦前における日本商船隊約4,600隻の行動記録を独力でまとめあげました。この貴重な記録と、戦前の商船を復元した102隻のミニチュア模型からなる、山田早苗コレクションをご紹介します。



▲戦前日本の商船隊(山田コレクション)

4 梅木信子の願い

兵庫県に住んでいた渡邊信子氏は、神戸高等商船学校生の梅木靖之氏と将来を約束していました。靖之氏は1942(昭和17)年5月の卒業後、すぐに召集され、半年後に海軍機関少尉として乗船した栗田丸は、輸送船として上海からラバウルに向けて航行中の1943年10月、東シナ海にて米潜水艦の攻撃を受け、靖之氏は帰らぬ人となりました。信子氏は翌1944年に裁判所で結婚が認められ梅木信子になり、軍人遺族として医学への道を進みました。信子氏は戦後、医師として長く地域医療に携われた一方、海が好きで、海に心を寄せる若者のために、海事科学の振興と海技者育成のための基金を設立しました。梅木氏に感謝と敬意を込め、深江キャンパスに梅木Yホール・Nホールを命名し、教育活動や市民セミナーなどに活用しております。



▲梅木靖之・信子両氏(1943年頃)

体験教室 ※いずれも詳細はHP・別途チラシをご参照ください。

タオルアニマルを作ろう～客船のサービスに親しむ～

8月4日(月)および8月8日(金)の全2回、午後2時30分から約1時間、事前申込制、小学生以上15名、参加費200円

自由自在なロープの技(ロープワーク教室)

7月28日(月)～8月6日(水)の開館時間内に随時受付、参加申し込み不要、所要時間約30分、博物館内

市民セミナー「太平洋戦争時の日本商船」 11月22日(土)13時～16時30分、神戸大学深江キャンパス梅木ホール(予定)